

9月議会が閉会(10月12日) 減税条例(案)は継続審査 4年に一度の海外視察に減・自・公・民が賛成

10月12日の名古屋市議会本会議で、決算審査前から審議されていた減税条例(案)が継続審査となりました。自・公・民が継続に賛成、減税が「可決」を求めて継続に反対、日本共産党は「否決」の立場で継続に反対しました。

海外視察の中止こそ常識

慣例になっている議員の海外視察、自民党などは「見送ると今までが豪華旅行だったと認めることになる(10月5日中日)といい、日本共産党以外の議員がすべて賛成しました(減税の富田議員は棄権)。

8件の請願を受理

9月議会には市民(団体)から8件の請願が提出されました。「学校薬剤師の報酬」「上飯田連絡線に敬老パス」「学童保育の拡充」「市立保育所の休日保育、子育て支援センター、一時保育の拡充」「北区内に市立の延長保育実施保育所の拡充、病児ディケアの実施、病後児ディケアの拡充」「北区に巡回バス路線を新設

する」「民間保育所の運営主体に企業を参入させない」「市民税10%減税に実現を求める」に関する請願です。日本共産党は6件の紹介議員になりました。

減税条例の審査は10月24日午前に

継続審査となった減税条例と、減税日本が紹介議員となった「減税を求める請願」は10月24日午前10時から財政福祉委員会で審査されます。

場外船券売り場反対の請願に 公明党が請願紹介議員を辞退

10月12日の本会議で「場外船券売り場の設置に反対する請願」(10件)について、紹介取り消しが確認されました。

すでに何回も審議していた請願

この請願は、6月議会で受理され、この間2回ほど委員会で審議されてきたものです。紹介議員を取り消した理由は「中立の立場で審議するため」といっています。

2011年9月議会における議案と態度(10月12日)

議案名	各会派の態度				結果	備考
	共	減	自	公民		
市民税減税条例					可決	金もち・大企業優遇の減税。内容は全く同じ
2010年度一般会計決算認定					可決	減税で市民サービス削減し、大型事業推進
” 特別会計決算認定(11件)					可決	国保、後期高齢者、老健、介護保険、母子寡婦福祉資金、農業共済、市場及びと畜場、区画整理、市街地再開発、基金、用地先行取得の特別会計
” 特別会計決算認定(2件)					可決	値上げや大型事業への財源繰り出しへ墓地公園整備、公債の特別会計
” 企業会計決算認定(1件)					可決	下水道事業
” 企業会計決算認定(5件)					可決	市民病院売却、市民サービス切り捨て、ムダな大型事業推進、安全対策に危険を及ぼす職員削減など 病院、水道、工水、自動車運送、高速度鉄道事業
議員派遣(トリノ姉妹都市提携5周年記念公式代表団)					可決	10月31日~11月7日。プラハ、トリノ、ミラノへ姉妹都市提携5周年記念行事。その他調査。副議長と各党団長の5人(日本共産党は不参加)。
議員派遣(名古屋市会北米視察団)					可決	10月24日~11月2日。ロサンゼルス、ヒューストン、ニューオーリンズ、メキシコ、シカゴへの調査。自民8人、民主2人の10人。 岩本たかひろ、岡本善博、成田たかゆき、西川ひさし、坂野公壽、藤沢忠将、ふじた和秀、堀場章(以上自民)日比健太郎、服部将也(以上民主)

○=賛成 =反対 =継続/共:日本共産党 減:減税日本ナゴヤ 自:自民党 公:公明党 民:民主党